

一生懸命

校長 安部成年

9月21日に県立総合体育館で体育大会を開催しました。体育館での開催は初めてでしたが、関係者の周到な事前準備や総合練習の実施などにより、大きな問題なく予定通り実施できました。準備や大会運営に尽力してくれた先生方や生徒の皆さんのおかげで良い体育大会を開催することができ、嬉しく思うとともに大変ありがたく思っています。改めてご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。

ここで部活動の大会のことにありますが、10月には吹奏楽部が九州マーチングコンテストおよび全日本吹奏楽コンクールといった全国規模の戦いに挑みます。大会はいずれも目前に迫ってきていますが、吹奏楽部の皆さんがこれまで培ってきた力を十二分に発揮し、素晴らしい成績を納めてくれることを期待しているところです。

ところで、体育大会や部活動の試合などを観戦している時にいつも思うのですが、人が（特に若者が）何か一生懸命に取り組む姿は、見ている人に感動を与えてくれます。自分に関係のある人が頑張っている場合はもちろんですが、そうでない場合も見ていて感動することがしばしばあるのではないのでしょうか。テレビで流れるスポーツの実況放送などでも、見出すとついつい引き込まれてしましますが、それは単に技術的にレベルが高いからというだけでなく、選手たちの懸命な姿がそうさせるのではないかと思います。

何でも上手にできるにこしたことはありませんが、たとえ下手であっても、そこに一生懸命に取り組む姿勢があれば、見ている人は感動するし応援してくれるものです。また自分自身も、ベストを尽くしたのであれば成功・失敗にかかわらず結果に対して納得することができるのではないのでしょうか。たとえ失敗したとしても、その時はそれ以上のことはできないほど頑張ったということ自分を自身でちゃんとわかっておれば、あれこれと悔やむことはありません。

なお、かつてオリンピックの女子マラソンで銀と銅の二つのメダルを獲得した有森裕子選手は、ある講演会で「一生懸命頑張れば、それを応援してくれる人が必ず現れる。能力のあるなしに関わらず、一生懸命に努力する人は、周囲からその存在を認められ、様々なチャンスを与えられる。」と仰っていました。まさにその通りだと私も思っています。

何事も自分のために一生懸命頑張るのは当然ですが、その姿勢が、周囲の人にも感動を与えることがあるということ、そしてそれが直接・間接に応援していただいていることに対する恩返しにもなるということ、生徒の皆さんには理解していただきたいと思います。

秋のオープンスクール

10月14日（土）

午前 中学校
午後 高校
一緒に楽しい時を
過ごしましょう

※ 詳細はHPをご覧ください。

28	27	26	21	19	18	16	14	13	12	11	10	9	7	6	4	10月行事予定
土	金	木	土	木	水	月	土	金	木	水	火	月	土	金	水	
まるごと活中体験⑬																
高Ⅲ模試（～29日）																
避難訓練（40分授業）																
中学生徒総会																
高ⅠⅡⅢ特進土曜課外																
中1宿泊研修（～20日）																
生徒修養会																
生徒修養会準備祈禱会																
中高オープンスクール																
40分授業																
中3進路説明会																
高1活水女子大説明会																
中高一貫委員会																
一斉各種委員会																
中高生徒会役員改選告示																
高Ⅰ活水女子大説明会																
中3進路説明会																
高Ⅲ模試																
高Ⅲ小論文模試																
高Ⅲ小論文模試																
第2回英検（一次）																
体育の日																
中間考査（高校～6日、中学～5日）																
中学特別行事																

体育大会 初の屋内会場で

中学一矢切の渡しー

今年の中学校の団体種目は「矢切の渡し」でした。土台となる橋をみんなで作って、その上を1年生が渡っていくというものです。練習の時からみんな気合が入りすぎて、だんだんと渡るスピードが速くなっていきました。上に乗っている1年生も落ちそうになりながらも体の柔らかさでバランスを保ちながら進んでいきました。赤組も青組も1度も落ちずにゴールすることができて、素晴らしいチームワークを見せてくれました。（長門祐二）



高Ⅰ 創作民舞・借り人リレー

高Ⅰは創作民舞として「ドラえもん音頭」・「夏祭り」と今年で58回目の「活水音頭」を踊りました。クラスから民舞委員を選出し夏休みに集まって踊りを作りました。当日は浴衣を着て趣向を凝らしたうちわを持ってみんな笑顔で踊りました。借り人リレーは2人1組となって札に書いてある人物を探して連れてきてバトンを次につなぐリレー形式で行いました。探すことに苦戦していましたが、それが楽しかったようでみんな笑いながら走っていました。（平野智也）



高Ⅱ 創作ダンス・綱引き

高Ⅱ創作ダンスでは、覚えるのが大変でしたが、皆で助け合いながら練習を重ね、本番は楽しく踊ることが出来ました。各クラスのダンスでは、可愛い振付をクラスの皆と担任の先生と踊れて嬉しかったです。綱引きでは、皆で戦術を考えて全力で戦い、クラスの一体感を感じ、団結力を高めることが出来ました。最終的には、達成感を感じ、笑って終わることが出来たので良かったです。（ⅡB城野、酒井、早川、山道）



1位 Aクラス 2位 Bクラス 3位 Cクラス 4位 Dクラス

高Ⅲ 仮装競走

私は、高校最後の体育大会を最高学年として、また体育委員長として盛り上げて終わりたいと思っていました。特に仮装競走は、高Ⅲがとても楽しみにしている競技なので、多くの時間を使い準備しました。

各クラス仮装のコンセプトが決まったら、体育委員やダンス部員などを中心に、音楽や振り付け、隊形移動を考えました。体育館や中庭にみんなで集まり練習を重ね、自分たちだけではなく、観て下さる方に楽しんでもらえるような演技創りを目指しました。本番は緊張しましたが、クラスのみなが笑顔で楽しむことができました。「可愛い！」や「カッコいい！」などの声援をもらい、嬉しさと達成感で一杯になりました。高Ⅲがクラスのみなが団結して取り組んだ「仮装競走」は、この先もずっと忘れられない思い出となりました。

（Ⅲ年C組 体育委員長 村元碧良）



Ⅲ年A組



Ⅲ年B組



Ⅲ年C組



Ⅲ年D組

メイポールダンスを終えて

高校Ⅲ年生によって、104年間引き継がれてきたこの伝統のダンスを、いよいよ私が踊る年がやってきました。活水中学校時代から5年間、先輩方の演技をずっと観てきました。どのポールも踊りが上手で、編目も綺麗に編み込まれており、その姿は全てが素敵で憧れでした。しかし、いざ自分自身が踊ってみると、踊りも編目もうまくいかず、想像していたのよりも何倍も大変で、うまくできない自分が情けなくなりました。そして練習を重ね、本番を迎えました。全てが完璧にできたわけではありませんが、私たち一人ひとりの思いをしっかりとリボンに編み込みました。高校Ⅲ年生全員で活水の伝統を引き継いだという達成感でいっぱいになりました。
(Ⅲ年D組 高橋春日)

メイポールダンスでは、踊りや編目の出来栄への素晴らしさというよりも、一生懸命踊る生徒たちの姿に感動します。その感動は、「よく頑張った」とか「協力できた」などという単純なものではなく、「生徒たちの輝き」に対する眩しさや愛おしさ、さらに嫉妬さえない交じった何とも表現しがたい感情です。生徒たちはこの3年間、楽しいことばかりではなく、苦悩や憤りを抱え、挫折しながらも成長してきました。多くの経験を共有してきた彼女らが、立派に伝統を繋ぐ姿を見守れる喜びは一入です。104年の間、ずっと活水生によって踊り継がれてきたメイポールダンス。「活水」「メイポール」という共通項で、顔も名前も知らない多くの先輩方と繋がってられるなんて、なんと素敵なことだろうと思います。



(演技指導担当 体育科 増田康子)

弓道県新人戦団体優勝、九州へ

9/16~17に島原で行われた県新人戦で団体優勝しました。予選1立目は平田さんが高的中で牽引し首位に。2立目で苦戦するも、2次予選で田中さんが参戦し決勝リーグ進出。初戦は永田さんが射場に立ち白星発進。第二、第三試合で今出さんが連続皆中して勝利。最終戦は木村さんの的中で勝ち越すと、さらに濱松さん森田さんと続き、女子最高の中数で全勝。7人全員で県の頂点に駆け上がり、地区大会から無敗で九州大会出場を決めました。
(梅本雄史)



今月の聖句 「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。」(コリントの信徒への手紙二 13章 13節)

毎朝の礼拝で、「頌栄24番」を歌います。ある中学生に「なぜ讃美歌24番ではなく、頌栄24番というのですか」と聞かれました。頌栄とは、「神をほめたたえる」「父、子、聖霊なる三位一体の神様を賛美する」という意味です。だから、父、子、聖霊の神様を賛美する歌詞が含まれる讃美歌(讃美歌21では24~29番)を、頌栄と呼んでいます。もちろん、他の讃美歌もすべて神様をほめたたえる歌なのですが、特に三位一体の神様を賛美する歌を「頌栄」と呼んでいます。活水の礼拝で、最初に頌栄24番を歌うのは、私たちが賛美し、礼拝をささげている神様がどういふ神様なのか、みんなで確認する意味もあります。(教会の主日礼拝では最後に頌栄を歌うこともあります、同じ意味です。)

みなさんはどんな思いで頌栄を歌っていますか。私たちを愛し、大切に、そして導いてくださる神様への賛美なのだという気持ちを込めて歌ってみてください。
(三河悠希子)

2023 笑顔溢れた活水祭 9/1(金)、9/2(土)

今年の文化祭のスローガン「I love it(=kwassui)」には、活水をもっと好きになってほしい、楽しく最高の文化祭にしたい!という生徒会役員の気持ちが込められていました。また、「過去にとらわれない新しい活水祭を作りたい」という生徒会長の宣言通り、生徒会を中心に、実行委員、補助員など生徒全員で作った見どころ満載の文化祭が実現できたと思います。活水祭を支え盛り上げていただいたPTAの方々をはじめ、関わっていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

以下生徒感想です。

(五貫俊子)

- ・前夜祭があって楽しかったし、たくさんのお客さんの笑顔も見られたし私も楽しかった
- ・人生で初めて文化祭らしい文化祭を体験できてとても嬉しかったです
- ・キッチンカーがあり、美味しかったし、ものすごく楽しかった
- ・普段関わらない人とも関わって仲を深める事が出来るって言うのが良いと思いました



教育実習生の皆さんから

村上文音さん(長崎大学)

実習期間中、懐かしい記憶と触れ合う瞬間が何度もありました。友人とお腹を抱えて笑ったこと。刃物のような言葉に傷つけられて一人涙を流したこと。食堂から漂うご飯の香りが好きだったこと…。この度、眩しいほどに輝く皆さんと過ごした時間は私の人生の宝物です。皆さんには“可能性しか”ありません。是非、大人でもない。子供でもない。「学生」という最強の肩書をフル活用してください。驚くほど広い世界が見えるはずですよ。



田川美桜さん(大分県芸術文化短期大学)

今回、母校である活水で実習が出来、とても楽しく、そして深い学びとなりました。1年1組の皆さん、音楽を選択している皆さん、そして先生方には本当にお世話になりました。ありがとうございました。廊下ですれ違う際も丁寧に挨拶をする活水生に改めて素敵だと感じました。活水祭や体育大会では、先生も生徒も熱心に参加し、素晴らしい環境の中で行事が行われていると感じました。今回、活水生や先生方の明るさにはたくさんの元気をもらいました。私は今後、一人前の教員になれるよう、大学では今回の経験を活かし、学業に励みます。皆さんも勉強に部活と素敵な学校生活を送ってください。また皆さんにお会い出来ること、楽しみにしています。



大会成績等

〈中高吹奏楽部〉
長崎県マーチングコンテスト
高等学校以上の部
金賞 並びに第41回九州マーチング
コンテスト長崎県代表に推薦

〈高校弓道部〉
長崎県高等学校新人体育大会
弓道競技 女子団体の部 優勝
木村妃織、濱松美幸、永田陽菜、森田紗弥花、
平田明日羽、田中清良、今出いくみ

(山口真樹人)